



株式会社 トーホー

創業70周年、更なる飛躍に向けて
トーホーグループ 第六次中期経営計画

2015年度（2016年1月期）～2017年度（2018年1月期）

IMPACT 2017

（インパクト ニーマルイチナナ）

～社会から信頼され必要とされる会社へ～

1. 第六次中期経営計画の策定について
2. 第六次中期経営計画の位置付け
3. 最終年度業績予想
4. 7つの重点施策

2015年3月
(2017年9月更新)

1. 第六次中期経営計画「IMPACT 2017」の策定について

食を通して社会に貢献する

toho

経営理念

食を通して社会に貢献する

経営のキーワード

「美味しさ」そして
「安心・安全、健康、環境」

5つの経営方針

1. 持続的成長と収益力の向上
2. 組織の活性化と人材の活性化
3. 顧客・現場視点の経営
4. コンプライアンスと適時情報開示
5. スピード経営

トーホーグループでは、経営理念、経営のキーワードのもと、「5つの経営方針」を具現化し、更なる企業価値の向上を図るべく、第六次中期経営計画（3カ年計画）「IMPACT 2017」(2015年度(2016年1月期)～2017年度(2018年1月期))を策定いたしました。

前期までの第五次中期経営計画（3カ年計画）「IMPACT 2014」では、節約志向や低価格志向による消費低迷や予想を上回る円安による原料価格の高騰、電力・物流コストの上昇などもあり、当初策定した財務目標については未達となりました。

しかしながら7つの重点施策については「事業基盤の拡大」や「M&A戦略の加速」「業務改革の推進」など、着実に推進し、一定の成果を上げることができました。

今回策定いたしました第六次中期経営計画の最終年度は創業70周年にあたります。今後も、輸入原材料の高止まりや電力コストの高騰、長期化する人手不足など、先行き不透明感は残りますが、このような状況下にあっても、更に企業価値を向上できるよう、新たな7つの重点施策のもと、具体的な取組みを推進してまいります。

トーホーグループの更なる飛躍にご期待ください。

2. 「IMPACT 2017」の位置付け

「IMPACT」の集大成

テーマ：社会から信頼され必要とされる会社へ

Innovation：革新 Motivation：動機付け、刺激、意欲 Passion：情熱
Activation：活性化 Collaboration：協調・連携・協力 Tradition：伝統

第六次
IMPACT 2017

2016年1月期（2015年度）～2018年1月期（2017年度）
更なる成長戦略、グループシナジー追求、生産性の向上

第五次
IMPACT 2014

2013年1月期（2012年度）～2015年1月期（2014年度）
全国展開の加速、生産性の向上

第四次
IMPACT 2011

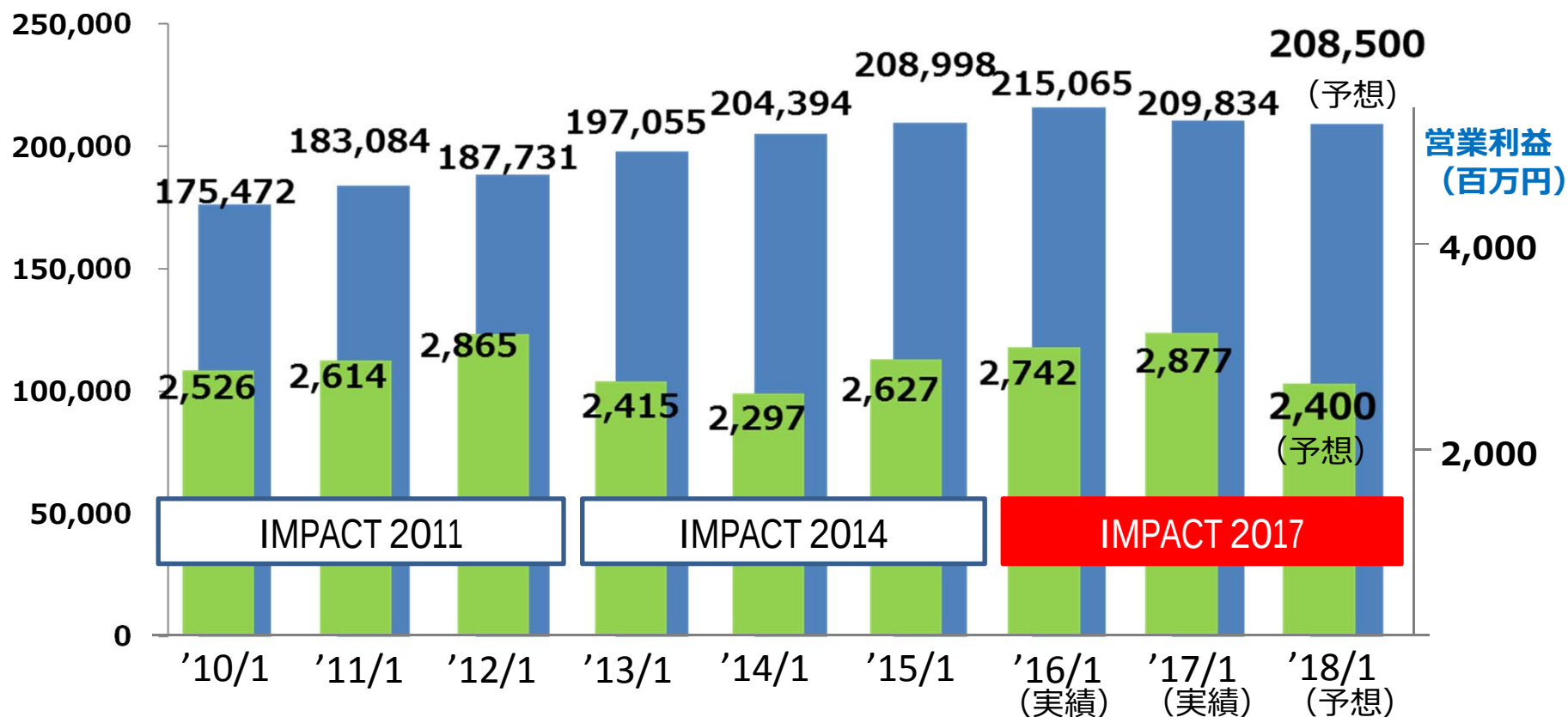
2010年1月期（2009年度）～2012年1月期（2011年度）
事業の選択と集中

3. 第六次中期経営計画 「IMPACT 2017」 最終年度業績予想

食を通して社会に貢献する

toho

売上高
(百万円)



ROE	5.9%	5.9%	2.6%	4.0%	2.3%	4.4%	4.3%	4.9%	4.5%
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------

4. 「IMPACT 2017」 7つの重点施策

2015年度（2016年1月期）～2017年度（2018年1月期）

7つの重点施策

1. コア事業強化の為の事業基盤の拡大
2. グループ連携強化によるシナジー発揮
3. M & A 戦略の更なる加速
4. 新たなビジネスモデルの創生・育成
5. 人事・給与制度改革の継続
6. 業務改革による企業体質の強化
7. コスト・コントロールの徹底

4. 「IMPACT 2017」 7つの重点施策

1. コア事業強化の為の事業基盤の拡大

IMPACT 2011

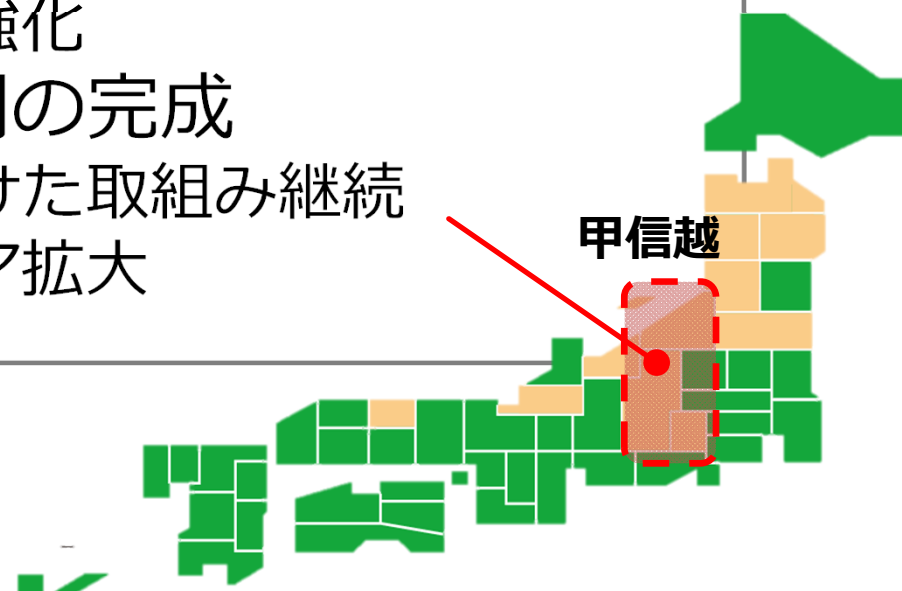
IMPACT 2014

IMPACT 2017

事業の選択と集中

コア事業の事業基盤強化・拡大

- 事業所の出店・移転・改装・統合
～既存事業基盤の更なる強化
- 業務用食品卸全国展開の完成
～甲信越エリア進出に向けた取組み継続
～関東地区の更なるシェア拡大



4. 「IMPACT 2017」 7つの重点施策

2. グループ連携強化によるシナジー発揮

IMPACT 2017

- 新規子会社の情報システム網の整備
～グループの全体最適化
- グループ力を最大限に発揮できる組織体制構築
 1. (株)トホマーケティングサートを(株)トホに吸収分割
 2. 北関東のDTB事業3社を合併し、(株)トホ・北関東 始動
 3. 静岡県のC&C事業2社を合併し、(株)トホ・C&C静岡 始動
 4. (株)トホ・パワーワークスを(株)トホ・キャッシュアンドキャリーに吸収合併
 5. 総合建設請負、不動産管理、店舗内装設計・施工の4社を合併し、(株)トホ・コンストラクション 始動

4. 「IMPACT 2017」 7つの重点施策

3. M & A 戦略の更なる加速

IMPACT 2011

IMPACT 2014

IMPACT 2017

- 「コア事業」の強化に繋がる
M & A ・ アライアンスを継続・強化

- 4つの「コア事業」+ワン

ディストリビューター事業

キャッシュアンドキャリー事業

業務用コーヒー製造

食品スーパー事業

+

コア事業を補完する事業

✓ 業務用食品卸の
事業基盤の拡大

✓ コア事業の
サービス力、
商品力の強化

4. 「IMPACT 2017」 7つの重点施策

4. 新たなビジネスモデルの創生・育成

IMPACT 2011

IMPACT 2014

IMPACT 2017

- 品質管理サービス等、新たなビジネスの育成
- グループシナジーの発揮による「新たなビジネスモデル」の創生

5. 人事・給与制度改革の継続

IMPACT 2011

IMPACT 2014

IMPACT 2017

- 4年連続ベースアップ
- 4年連続年間所定労働時間を短縮
- 女性活躍推進など「働き方改革」につながる制度改革
- グループ人事・給与制度の導入拡大

4. 「IMPACT 2017」 7つの重点施策

6. 業務改革による企業体質の強化

IMPACT 2014

IMPACT 2017

- 積極的 I T 投資による業務効率化
- 継続的な業務改善による生産性の向上
 - ～トーホーフードサービス バックオフィス業務改革
 - ～トーホーキャッシュアンドキャリー 販促改革
 - ～トーホーストア 自動発注システムの活用範囲の拡大

7. コスト・コントロールの徹底

IMPACT 2011

IMPACT 2014

IMPACT 2017

- 電力コスト低減など、あらゆるコストの見直しによる損益分岐点の引下げ

この資料に記載されている将来に関する予想については、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績などは業況の変化等により、異なる場合があることをご承知おきください。

食を通して社会に貢献する

toho

株式会社 トーホー